

---

# 紅眼 R 先生、あせろら先生とネール先生へのインタビュー記事

ポケポケパン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

紅眼R先生、あせろら先生とネール先生へのインタビュー記事

### 【Nコード】

N0791J

### 【作者名】

ポケポケパン

### 【あらすじ】

今回は紅眼R先生、あせろら先生とネール先生へインタビューいたしました。

皆様こんにちは。

今回は「竜の雫 くポケットモンスター」の紅眼R先生、「しゃんとしなさいランド君」のあせろら先生、そして「ポケットモンスターOCTET」のネール先生の三人の先生へインタビューを行いました。

早速ですが、どうぞおたのしみください。

・先生はこの「小説家になろう」サイトをどうやって知りましたか？

紅眼R先生

「小説を掲載できる場が欲しいとネットで検索して見つけました」  
あせろら先生

「グリーのコミュニティで「小説家になろう」でポケモン小説を執筆しているという方がいる事を知ったからです。」

ネール先生

「あるアニメ（ポケモンじゃないんですけどね（苦笑））のファンフィクションを探したらたまたま見つけました。」

・ポケモンのファンフィクションを書こうと思ったきっかけはなんでしたか？

紅眼R先生

「知り合いに中々仕事をしない絵師がいるのですが……」

何か描き始めるきっかけにでもなればと、誰もが知るであろうポケモンを題材に話を考え始めました。」

あせろら先生

「昔から物語を考えるのが好きだったこと、ポケモンそのものが好

きだったのが理由ですね。」

ネール先生

「ダイヤモンドでイーブイの進化系だけで四天王をクリアしようとしたところ『全7匹で1匹余る!どうしよう……』と思ったことから、小説を書くことに繋がりました(笑)」

・先生の年齢と出身地を教えてください。(任意で構いません)

紅眼R先生

「21歳で、出身は三重です。」

あせろら先生

「高校二年で、生まれも育ちも富士山がよく見えるところです。」

ネール先生

「もうすぐ19になります。住んでるところは首都圏です。」

・先生のポケモンのファンフィクションを執筆する以外の趣味を教えてください。

紅眼R先生

「カードゲームとかやっています。」

あせろら先生

「ゲームの曲やアニソン等の音楽鑑賞、ゲームです。」

ネール先生

「お友達と麻雀してます。」

・一番好きなポケモンの音楽・BGMを教えてください。

紅眼R先生

「一番多く聞いているであろう、自転車に乗っている時のBGMが一番安定です(笑)」

あせろら先生

「音楽なら「守るべきもの」、BGMは「戦闘!ギンガ団」が気に入ります。」

ネール先生

「ずっと前のEDの“ぼくのベストフレンド(でしたっけ?)”。あれは無敵です」

・好きなポケモンのタイプとその理由をお願いいたします。タイプは複数・複合でも構いません。

紅眼R先生

「タイプは炎ポケモンですね。

理由は、気付いたら手持ちが炎ポケモンだらけだったんで…… 多分そういう事ですw」

あせろら先生

「水ですね。理由はワニノコ愛(笑)」

ネール先生

「格闘タイプですね。マニニューラとかバンギラスとか4倍のダメージを与えられる敵が多いからです。」

・これからもポケモンの種類は増えていくと思いますか？

紅眼R先生

「商法登録で、他の色が一気に登録されたのでブラックやパールなど

続編は出るのでは?と思った時期もありましたが、冷静に考えてそれは今後、真似や疑似品が出ないようにする為だと思うので…… 個人的にはもう増えないんじゃないかと思えます。アルセウスも出ちゃった事ですし」

あせろら先生

「個人的意見としては難しいかと思えますが…… 任天堂ならその考えも覆ってしまうかもしれませんね(笑)」

ネール先生

「増えると思います。ていうかむしろ増えて(笑) エレブーとプーバーの進化形が出たのに何でルージュラの進化形が出ない(笑) !?」

・先生は話を執筆する際、紙に書き留めますか？ あるいはPC・携帯に直接書き込みますか？

紅眼R先生

「頭の中で考えて、PCに直接書き込みます。」

あせろら先生

「自分は携帯に直接ですね。電車で書くことも多いので。」

ネール先生

「直接パソコンに書き込みます。携帯だと打つのに時間が掛かってストレスの素になります（笑）」

・キャラクターを考案する時にヒントを得たもの、あるいはアイデアをもらったことはありますか？

紅眼R先生

「これまでの自分の人生で影響を受けた者、全てのに影響されると言えるので

特に は××の影響を受けたと書く点は無いんですが。

「ここは、 に似ている」とかそういうのがあれば同じものを見ている可能性は大です。」

あせろら先生

「色々な漫画、ゲームから拝借させていただいています（苦笑）」  
ネール先生

「まずはやっぱリーバイ系の数だけ出さないと、と……。」

・一話を書くのに有する時間はどれくらいですか？

紅眼R先生

「話が頭の中でどれだけ出来上がっているかによりますが

1話はそれほど長くしていないので、早い時では10分も掛りません。」

あせろら先生

「早いときは二時間ほど、遅いと一週間くらいかかってしまいます  
(汗)」

ネール先生

「一時間くらいですかね。短い上に大して質も良くないくせに時間  
だけは一丁前に掛かってしまいます(涙)」

・ポケモン小説以外でポケモングッズに関するちょっと誇示できる  
ようなことはありますか？ あるいはポケモンに関して語れるエピソード  
などはありますか？

紅眼R先生

「全然無いんですよね。」

ポケモン金・銀      ポケモンHG・SS

と言っていいほどその間が空いているので実はポケモンにはあまり  
触れていません。」

あせろら先生

「グッズに関しては漫画をある程度持つてるだけですが、「ポケモン  
いえるかな」は今でも完璧に歌えます(笑)」

ネール先生

「うーん……特にないです……(苦笑) 小さい頃に集めてた指人  
形なら残ってます。」

・ポケモンそのものにはいつ、どういったように出会いましたか？  
(例：幼稚園の時にテレビで、小学生の時にゲームボーイでなど)

紅眼R先生

「小学校の4〜5年生ぐらいの時にレッド・グリーンで初遭遇した  
気がします。」

あせろら先生

「幼稚園の時に兄が「緑」を買ってもらったときですね。」

ネール先生

「小学生の時にゲームボーイで。初めてやったゲームがポケモン緑

でやり方が分かんなくて泣いた覚えがあります（笑）」

・同じポケモンファンフィクション作者として意識、あるいは刺激をもらった作者さんたちはいましたか？

紅眼R先生

「ここはあえて”いません”と答えます。

基本的に他者の作品を読んで影響されたり似たりよつたりになる事は避けたいので

自分で思いつくがままに書いてます。」

あせろら先生

「バクフーンさん、Linoさん、ハープさん・・・他、たくさんの方々の作者さんです。」

ネール先生

「いっぱいいるんですが、交流がない作者さん達の名前は勝手に出せません……（汗）ごめんなさい！」

・執筆中に特に気をつけているものはありますか？

紅眼R先生

「これまで指摘された点が、ちゃんと修正されているか気に掛けてます。」

またupする前にも最低一度は読み直しています。」

あせろら先生

「誤字脱字と、地の文が「くはくした」など、単調な文の繰り返しにならないように気をつけています。」

ネール先生

「文才とか乏しいのですが、更新だけは頑張ろうと。最近はそのすらできてませんが……（汗）」

・実際にポケモンの世界に行けるとしたならば、手持ちにしたい最初のポケモンはなんですか？（御三家には限りません）



紅眼 R 先生

「圧倒的戦力的な意味で

ミュウツー」

あせろら先生

「デリバードで。某サイトを見て以来妙な思い入れがあるので（笑）

」

ネール先生

「リオルですね。仲良くなってルカリオに進化してくれるだけで満足しそうです。」

・ 作品を投稿、連載していて嬉しかったことはなんですか？

紅眼 R 先生

「ちゃんと読んでくれて、感想を書いてくれる人がいると言う事です。」

継続して読み続けてくれる読者はモチベーション的に非常に心強いです。」

あせろら先生

「やっぱり感想を頂けることですね。感想を書いてもらうと、非常に励みになります。」

ネール先生

「感想などをいただけた時も嬉しいですが、お気に入り登録していただけた時はとても嬉しかったです。」

・ 思い入れの深い話とキャラクターを教えてください。（例：一番書くのに苦労した、一番楽しかった、いろいろと試行錯誤をしたが結局断念したプランなど）

紅眼 R 先生

「断念したプランはいくつもありますが、ネタバレになるので伏せます。」

現状、主人公であるシズクと言うべきなんでしょうけど

正直まだみんながみんな平行したポジションにいるので特に無いです(投)」

あせろら先生

「主人公ランドの過去の話ですね。自分の失態で大切な人を守れなかったというエピソードを美しく表現できませんでした(汗)キャラはシャオランです。自分の中でも彼がどういうキャラなのかはつきりしていません(苦笑)」

ネール先生

「ドールをクリアの仲間に加えようかどうしようか、すっごく悩みました。」

・もうすぐクリスマスですが、今一番欲しいものはなんですか？

紅眼R先生

「サボらない絵師」

あせろら先生

「画りよk・・・文章りよk・・・PS2です。3じゃなくて2です(笑)」

ネール先生

「iPod touchです。買おう買おうと思いつながら結局買っていないんです。」

・好きなポケモンを五つ教えてください。

紅眼R先生

「ルカリオ

ミュウツー

ウインディ

フリーザー

レックウザ」

あせろら先生

「ワニノコ、デリバード、カイリユウ、リザードン、ルカリオです。」

「  
ネール先生

「ルカリオ フライゴン ラグラージ ウインディ サーナイト」

・先生にとってポケモンとはなんでしょう？

紅眼R先生

「古き良き友」

あせろら先生

「人生の癒しですね。ゲームや漫画にももっと深く触れていきたいです。」

ネール先生

「小さい頃からいつも横にいるような感じなので、お守り的な存在ですかね。」

・オーキド博士よろしくポケモン川柳を一ついただけますか？（これは任意で構いません）

あせろら先生

「『サファリゾーン 何を投げても 逃げられる』初代赤・緑でケンタロスとか捕まった記憶がないです（汗）」

ネール先生

「フリーデイン アイアンテール 尻尾ないよ？」

・読者の皆様には是非一言お願いいたします。

紅眼R先生

「気力が続く限り書き続けようと思うので是非最後までお付き合いください。」

あせろら先生

「色々と毛色の違う小説を書かせていただいています、これからも自分なりに頑張って書いていきたいです！」

ネール先生

「実は作品を読ませていただいているのに感想を書いてないという事実があります（笑） お邪魔しに行った時はよろしくお願いします。」

それでは皆様、また次回お会いいたしましょう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0791j/>

---

紅眼R先生、あせろら先生とネール先生へのインタビュー記事

2010年10月18日17時06分発行